

平成 25 年 7 月 30 日～8 月 5 日までの全国の暑さ指数 (WBGT) の
観測状況及び熱中症による救急搬送者数と暑さ指数との関係について
(お知らせ) (平成 25 年度第 7 報)

1. 目的

環境省では、暑さ指数(WBGT：湿球黒球温度)の予測値・実況値について、今年度は、5 月 13 日(月)から情報提供を開始したところです。今般、全国の熱中症患者数が急増していることから、暑さ指数の情報提供に加え、暑さ指数の推定精度の高い約 150 地点について、過去 1 週間程度の暑さ指数の観測状況、暑さ指数と熱中症患者搬送数との関係について、定期的に情報提供を行うことといたしました。本情報等を活用し、広く熱中症の予防にご協力いただきますようお願いいたします。

2. 先週(7月30日～8月5日)の全国の暑さ指数の観測状況について

暑さ指数 31℃以上(危険)の時間数(168 時間中)

1. 久米島(鹿児島県)	5 6 時間
2. 石垣島(鹿児島県)	5 3 時間
3. 名護(沖縄県)	3 4 時間
4. 鹿児島(鹿児島県)	2 5 時間
5. 名瀬(鹿児島県)	2 2 時間
6. 高知(高知県)、与那国島(沖縄県)	1 8 時間
7. 佐賀(佐賀県)	1 7 時間

<参考>全国 6 都市の観測地点

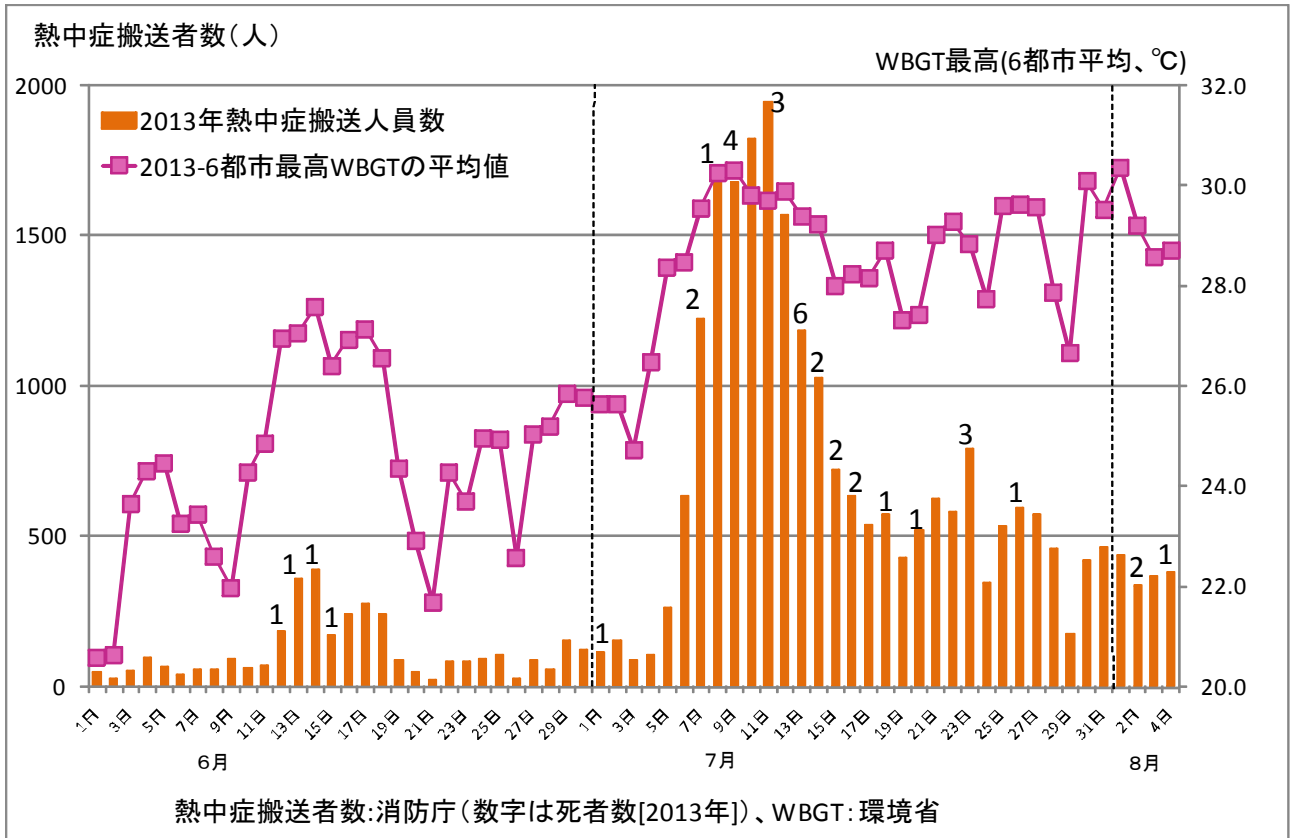
新潟(新潟県)	0 時間
東京(東京都)	0 時間
名古屋(愛知県)	5 時間
大阪(大阪府)	2 時間
広島(広島県)	1 時間
福岡(福岡県)	8 時間

(注 1) 暑さ指数は、これまでの調査結果による推定手法を用いて、気象庁の観測資料から推定した値です。

(注 2) 暑さ指数 31℃以上の時間数は、今回の調査では、久米島の 56 時間が最多で、153 地点のうち 71 地点で暑さ指数 31℃以上の時間がありました。なお、暑さ指数 31℃以上とは、(公財)日本体育協会の指針において、運動は原則中止レベルです。

3. 6都市の暑さ指数と熱中症による救急搬送者数（全国）との関係

6都市：東京都、大阪市、名古屋市、新潟市、広島市、福岡市



- 6都市平均の最高 WBGT は、7月30日～8月5日までの期間、熱中症危険度の「**嚴重注意**」を示す 28.6～30.4℃で推移しました。熱中症による救急搬送者数は消防庁発表の速報によると、7月29日～8月4日までの期間 176～465名（最多は31日の465名）で、西日本を中心に熱中症による搬送者数の多い状態が続いています。
- 7月30日～8月5日までの期間、日中の WBGT 最高値は、西日本と南西諸島では期間を通して熱中症危険度の「**嚴重注意**」を示す WBGT28℃を上回り、東日本では 27～29℃で経過しました。WBGT28℃を超えた地点は 78～106 地点（全 153 地点）に達し、熱中症に注意が必要な状態が続いています。
- 気象庁発表（8月7日 11時時点）の週間天気予報では、最高気温・最低気温とも平年並か平年より高く、平年よりかなり高くなる所もある見込みです。また、気象庁発表の異常天候早期警戒情報（8月6日 14時30分時点）では、11日頃からの約1週間は、北海道から九州北部の広い範囲で、平年よりかなり高くなると予想されます。
- 熱中症に警戒が必要な状態が続きます。こまめな水分補給、積極的に休憩をとるなど、体調管理に十分注意してください。

(注) 6都市における暑さ指数は、環境省の観測と気象庁の観測資料から求めた観測値です。

6都市：東京、新潟、名古屋、大阪、広島、福岡